

# 令和4年度 治山・林道工事コンクール

治山・林道工事コンクールは、国有林野の公益的機能を十全に発揮させ、森林・林業の再生の推進など、事業実施における施策効果を一層発現させることに貢献した治山・林道工事で、民有林の模範としてふさわしいものを表彰するものです。

令和4年度も、厳正な審査を行い、治山工事部門と林道工事部門から、それぞれ農林水産大臣賞と林野庁長官賞を決定し、2月16日に表彰式を行いました。

ここでは、農林水産大臣賞受賞工事をご紹介します。

★  
農林水産大臣賞

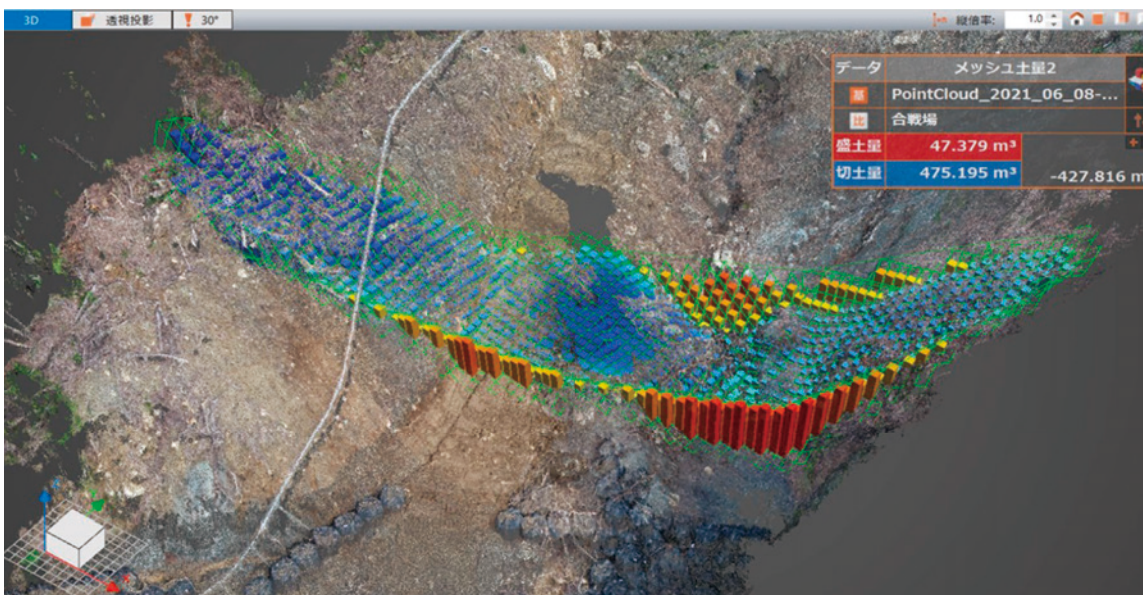
治山工事部門

芦北地区治山工事（合戦場外1）  
大政建設株式会社 熊本県熊本市

## 工事内容

令和2年7月豪雨に伴い、熊本県で甚大な被害が発生し、熊本県からの要請により国の直轄代行事業として、特定民有林直轄治山災害復旧等事業を実施しました。

合戦場地区においては、直下の農地と町道に崩壊土砂が流出したことから、山腹工1ヶ所と溪間工1基を施工し、西地区においては、直下の鉄道（肥薩おれんじ鉄道）と国道（3号線）に崩壊土砂が流出したことから、山腹工1ヶ所と溪間工2基を施工しました。



切取土量を把握するために3次元測量データと3次元設計とを比較



評価のポイント

- 無人航空機を活用した3次元データの測量・設計や自動追尾型測量機器を活用した土工工事を実施するなど、ICT（情報通信技術）を積極的に導入し、効率的な施工管理に取り組みました。
- 残置式木製型枠の採用を提案するなど、周囲の景観配慮や木材利用に努めました。



残置式木製型枠

工事内容

効率的な木材生産や森林施業を行うため、林業専用道規格により設計された延長2千3百mの林道を新設しました。



バックホウに装備した360度カメラと人検知衝突軽減システム

★  
**農林水産大臣賞**

**林道工事部門**

湯擬谷第1分線林道 新設工事  
西江建設株式会社 北海道帯広市

評価のポイント

- 建設機械に360度カメラや人検知衝突軽減システムを装着し、作業効率の向上や作業員の安全を確保しました。
- CAD（コンピュータを用いた設計）データを活用し、設計変更にも素早く対応するなど、効率的な施工管理を行いました。
- バーチャルリアリティ（仮想現実VR）を活用した災害疑似体験を行い、安全に対する意識を高めました。



タブレットPCでCADデータを活用



VRを活用した災害疑似体験